

最新手術機器ダビンチの 操作を体験してみよう！

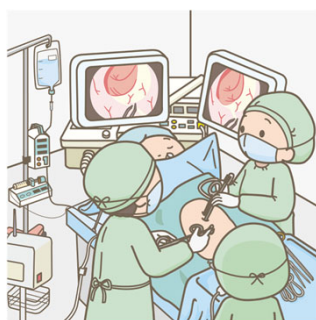
4本のロボットアームを操ってお腹の中を
手術するロボット手術機器には沢山の
種類があり、当院ではダヴィンチ
サージカルシステム®という、全世界・
日本国内ともに最も多く使用されている
手術支援ロボットを採用しています。



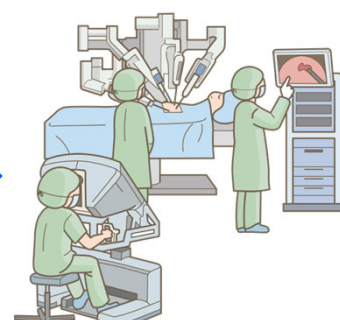
Intuitive社Hpより転載



開腹手術



腹腔鏡手術
(1985年頃～)



ロボット支援手術
(2000年頃～)

- ・肉眼で見て手術を行う
- ・創が大きい**分出血が多い**
- ・患者さんへの負担大
- ・執刀医の負担大



- ・内視鏡映像をみながら鉗子を操作して手術を行う
(先端が曲がらない)
- ・創が小さく**出血が少ない**
- ・患者さんへの負担小
- ・執刀医の負担大



- ・内視鏡映像をみながら鉗子を操作して手術を行う
(先端が自由に曲がる)
- ・創が小さく**出血が少ない**
- ・患者さんへの負担小
- ・執刀医の負担小



傷が小さい上に組織を痛めずに手術でき、
術後の回復が早くなります。
執刀医がガウンを着ないで座って手術が
出来る利点もあります！



最新の手術支援ロボットのダビンチを
実際に操作し、輪っかをつかんで入れる
ゲームに挑戦してみよう！

